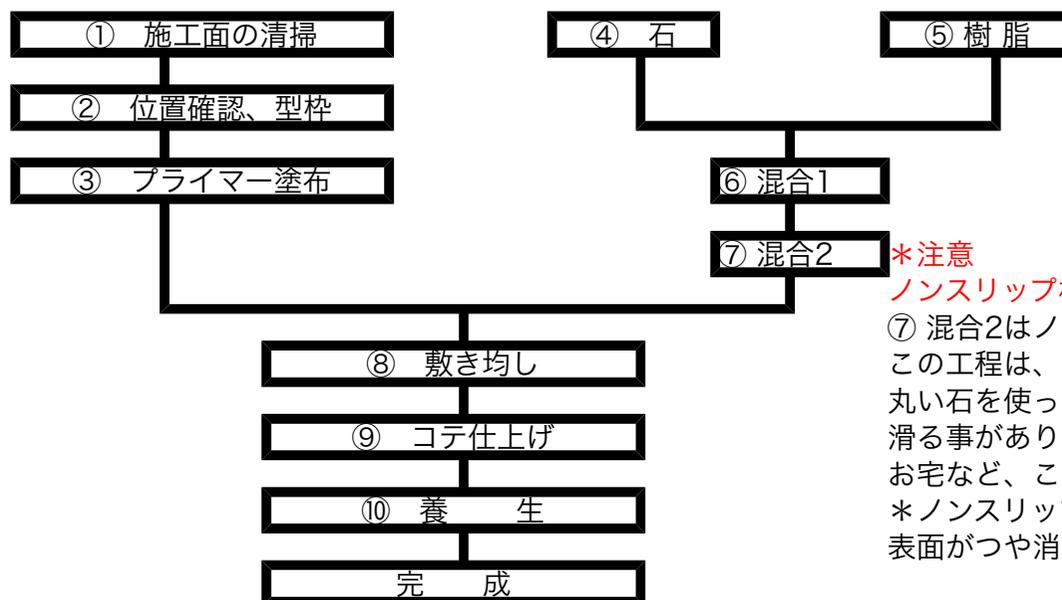


施工手順と施工方法

1㎡セット内容

石 : 17kg/袋 ノンスリップ処理材 : 300g/袋(石サイズSの場合は600gを使用)
樹脂 : ナチュラルコート 1kg/袋
プライマー : コートNE 200g/缶

施工手順



***注意**
ノンスリップ材の混合
⑦ 混合2はノンスリップ処理材の混合です。
この工程は、その必要に応じて行います。
丸い石を使ったり、勾配のある所は、雨に濡れると滑る事があります。また、お年寄りやお子さんのいるお宅など、このノンスリップ処理が効果的です。
*ノンスリップ処理材を施工直後、表面に散布しますと、表面がつや消しとなります。

施工要領

- ①施工面はよく乾燥させ、ゴミやほこり、砂などを ほうきや掃除機などで除去します。
- ②施工範囲と排水方向の確認や、必要に応じて墨出しや型枠を設置して下さい。
- ③プライマー（コートNE）は刷毛、ローラーを使用し、周囲を汚さないよう端部から1～2cm離して塗布します。
- ④使用する石17kg/袋は乾燥していることを確認して下さい。
- ⑤樹脂はナチュラルコート1kg/袋を使用します。
- ⑥石（17kg）と樹脂（1kg）をネコ車、練り箱、ミキサーなどを使用して均一に混合します。
- ⑦ノンスリップ処理の場合は、⑥の工程のあとノンスリップ処理材を投入し、均一になるように再度混合します。
- ⑧プライマーが乾燥したら、混合物を必要な厚さや周囲の高さに注意しながら敷き均します。
- ⑨金コテにて平滑になるよう仕上げます。金コテはシンナーに浸しながらの使用をお奨めします。
- ⑩養生は施工後の降雨でも特に必要ありませんが、人が踏まないようにセフティコーンやロープで囲って下さい。
（通常、施工から24時間後には歩行可能となり、車は48時間後には通行可能になります。）

下地施工の提案

下地施工について

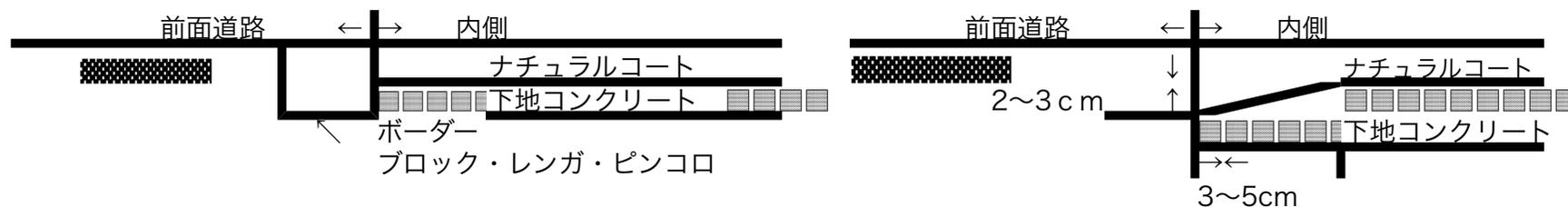
- ・ナチュラルコートの塗り厚は、5～10mmの範囲として下地の高さを調整して下さい。
- ・下地とプライマーの接着度を増すために、コンクリート下地の表面は金コテ仕上げにして下さい。
- ・下地の端部は面取りをして下さい。型枠の場合は2cm x 3cmの面取りで、横の縦面はナチュラルコートだけが見えるようになります。

排水方法について

- ・下地には排水勾配を付けてください。
- ・水の溜まる場所は下地に穴をあけるか、レンガなどの目地の高さを低くして水を流す方法があります。
- ・レンガの場合は目地無しで施工すると、水がレンガの継ぎ目から流れます。

端部の仕上げについて

- ・端部はブロックやレンガなどの高さに合わせると、端部のおさまりが良くなり、美しく仕上がります。
- ・全面道路などと接する部分は、レンガ、ピンコロなどでボーダーを設けると端部が欠ける事が無くなります。（車が通る場合は必要です。）
- ・ボーダーがない場合は、下地は道路天より2～3cm（奥行き3～5cm）程度下げる。（端部のナチュラルコートを厚くして強度を大きくする。）



*その他のご注意

- ・丸い石の場合は、急な勾配の箇所では水に濡れると滑ることがあります。
- ・壁面等垂直部分への施工はできません。